



2012年3月期 決算説明会

<http://www.daiohs.com>

日本証券アナリスト協会

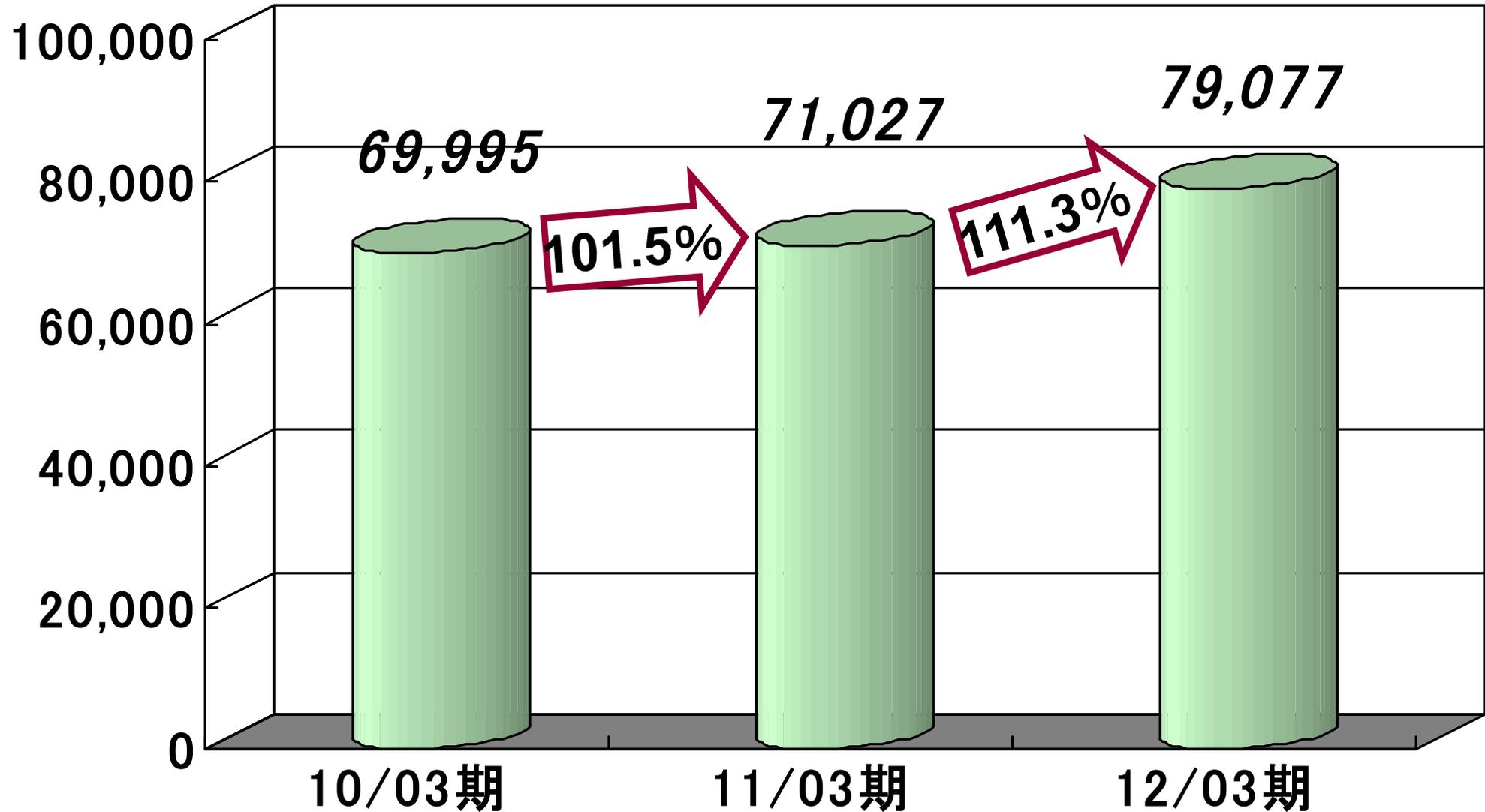
2012年5月22日



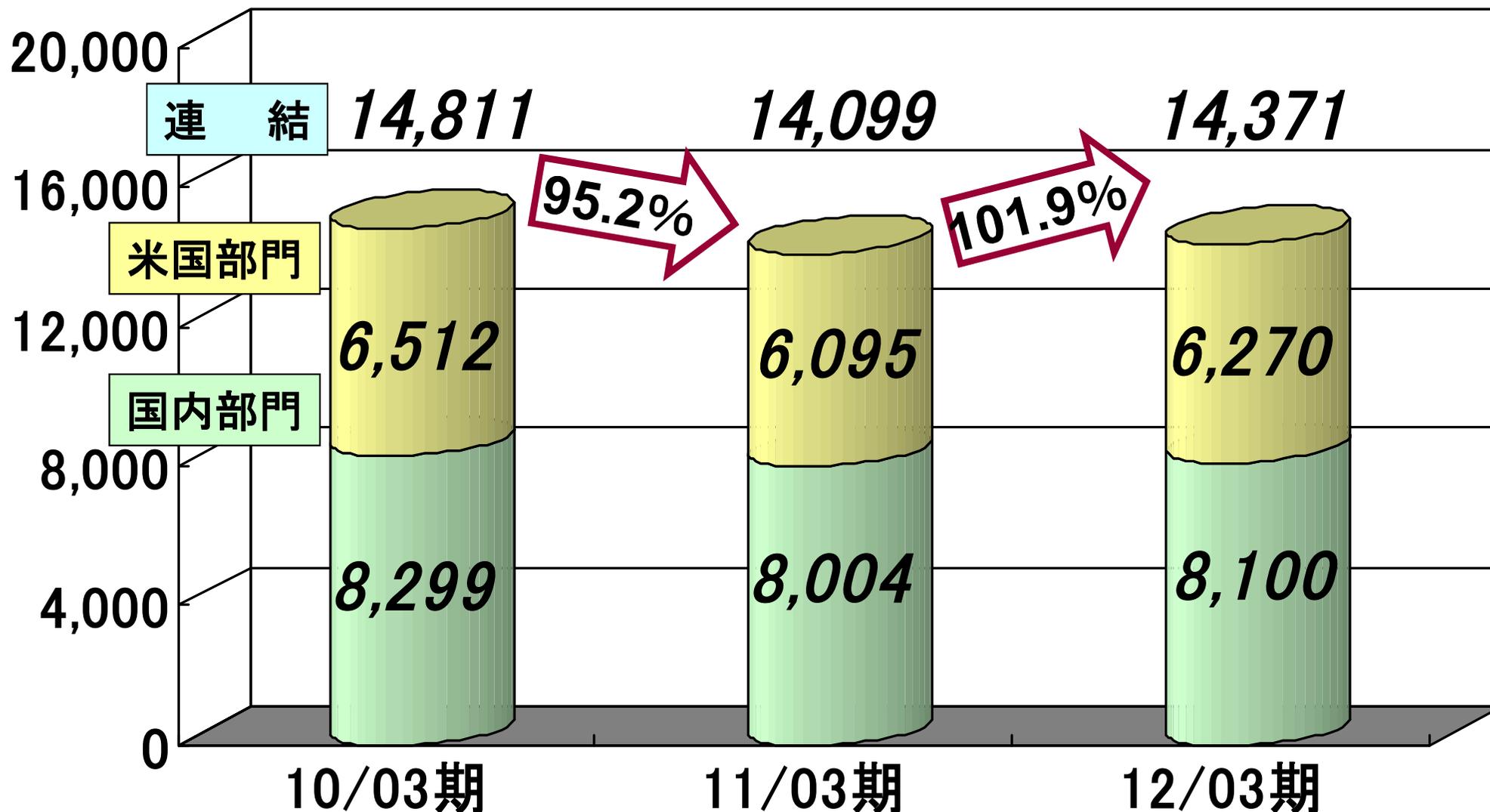
(単位:百万円)

	実績	前期比
売上高	14,371	101.9%
		売上比
営業利益	846	5.9%
経常利益	865	6.0%
当期純利益	424	3.0%
配当利回り	3.0%	(5月21日終値ベース)

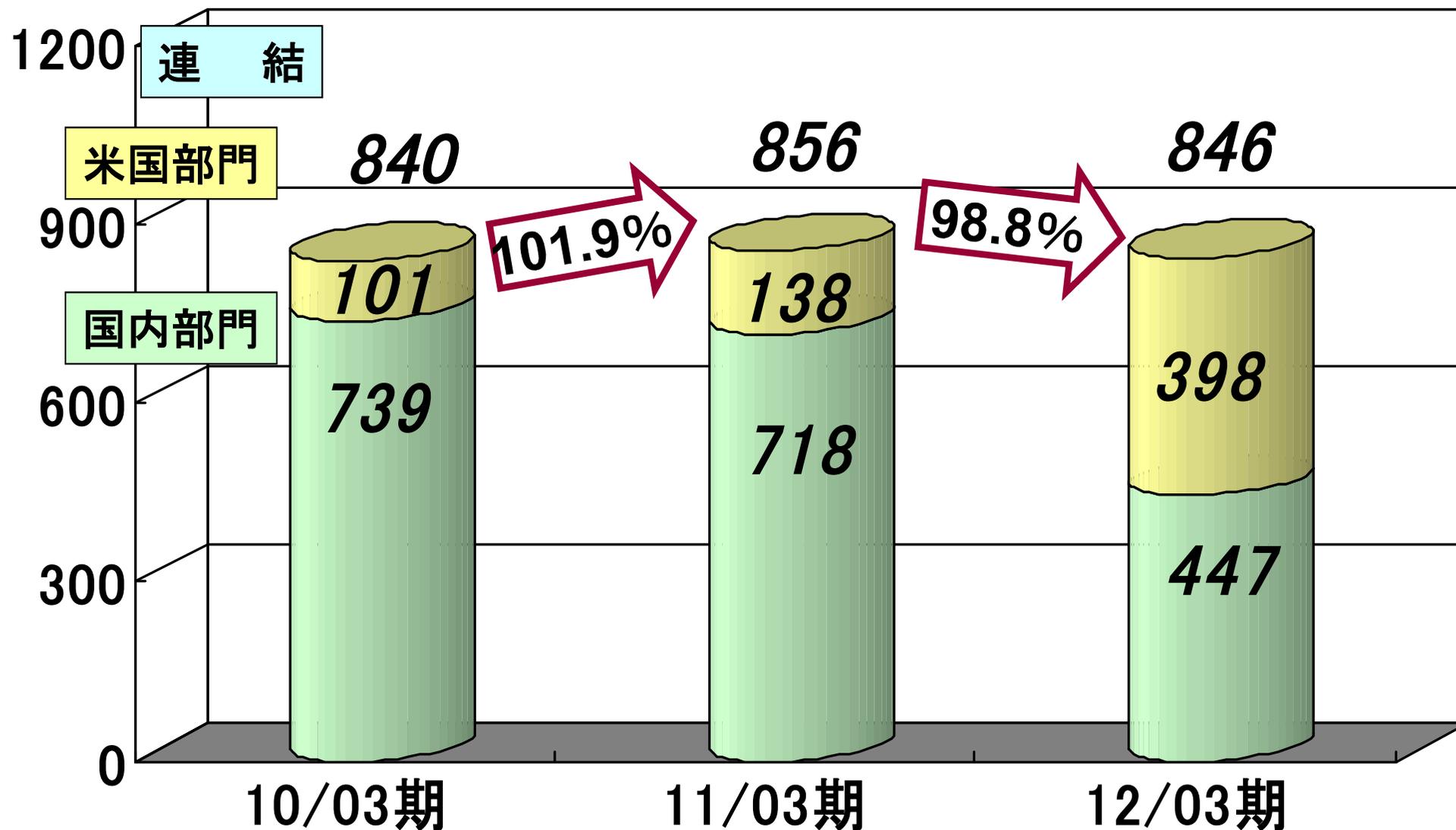
(単位:千米ドル)



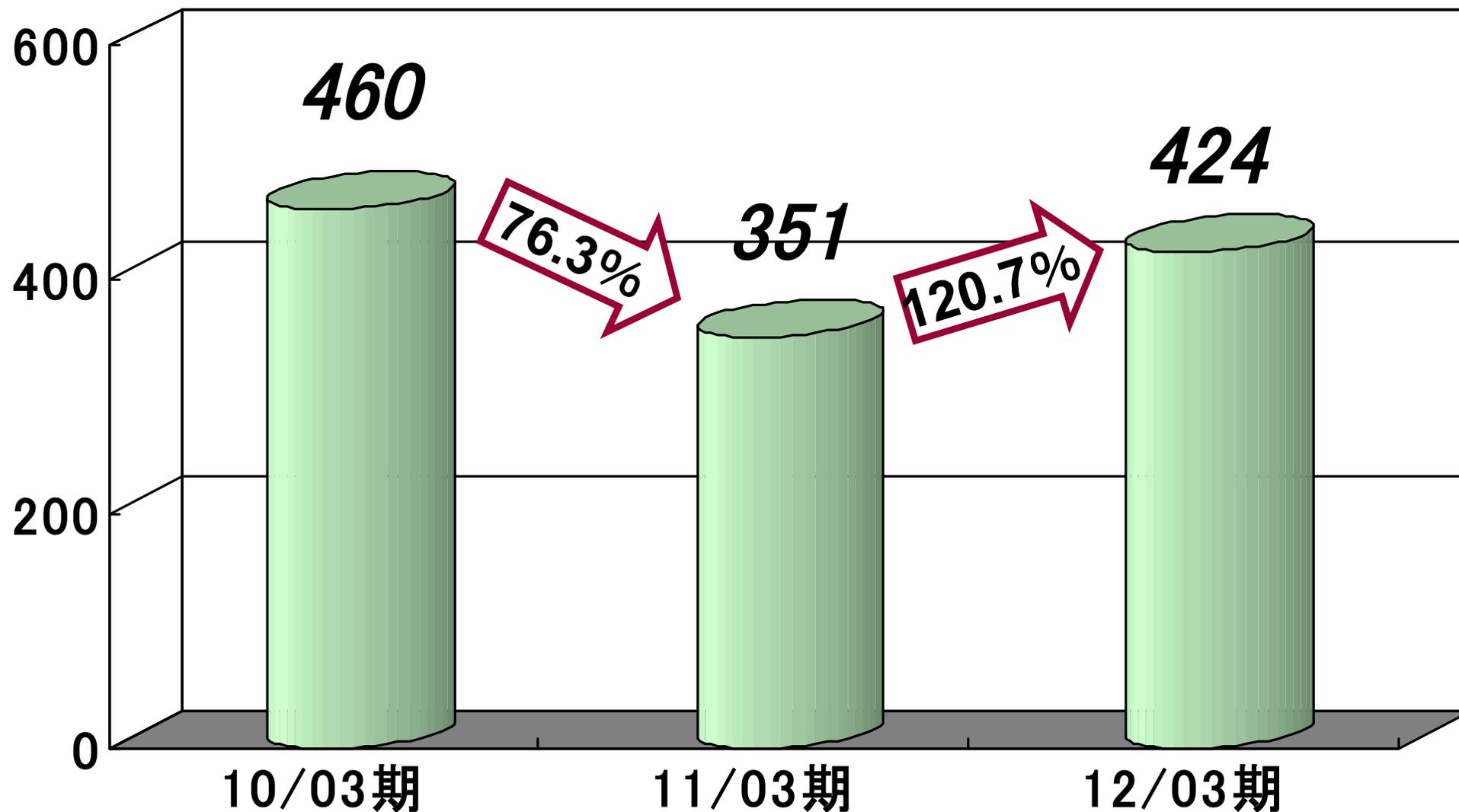
(単位: 百万円)



(単位: 百万円)



(単位: 百万円)





2012年（平成24年）3月期の 業績とトピックス

<http://www.daiohs.com>



3期ぶりに対前年売上を上回る

- ボトルウォーター需要の高まりと、積極的な投資の効果により、売上が対前年を上回る



「商品別拡販体制」が機能

「環境部門」

- 地域密着営業を強化



「飲料部門」

- 「ボトルウォーター」の拡販が通期で好調

お客様満足度の向上

- 「年中無休の365日営業体制」を東京23区でスタートさせ、首都圏まで範囲を拡大



4期ぶりに2ケタ成長達成(ドルベース)

- 成長過程にあるテキサス、コロラドで販売数量が順調に増加
- M&A、自力進出により営業拠点数が11州32拠点に増加



利益管理

- 既存拠点の生産性は全面的に向上



売上上昇の一方、運営人件費は削減
(対前年比99.1%)

- 大型M&Aの営業権償却完了に伴い、減価償却費総額が対前年79.1%(ドルベース)に減少

2期連続増収増益

- 営業利益は対前年比312.1% (ドルベース)
- 税引き前利益は対前年比579.3% (ドルベース)
- リーマンショック以来の不振からV字回復を確認



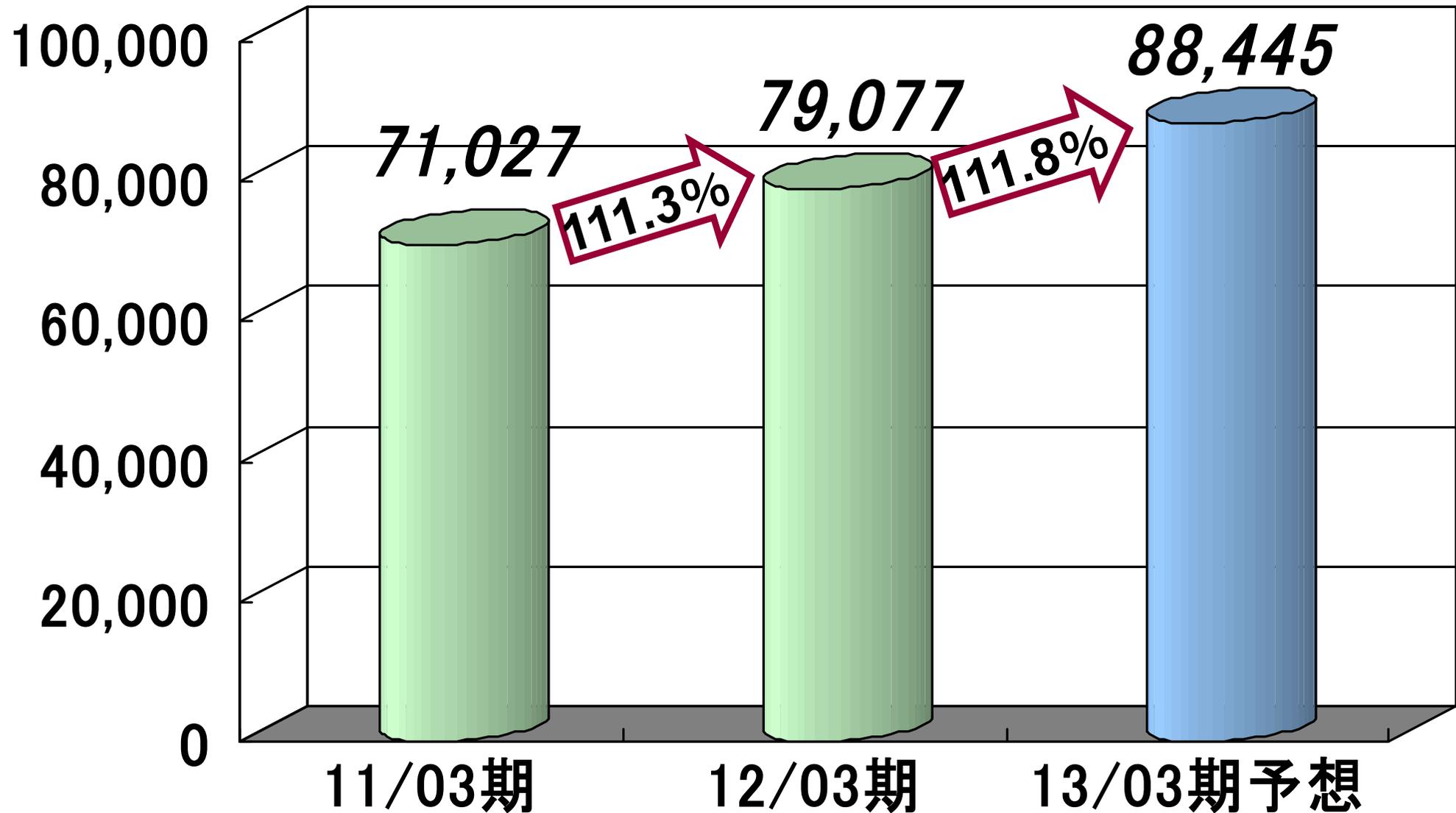


2013年（平成25年）3月期の 業績予想と重点政策

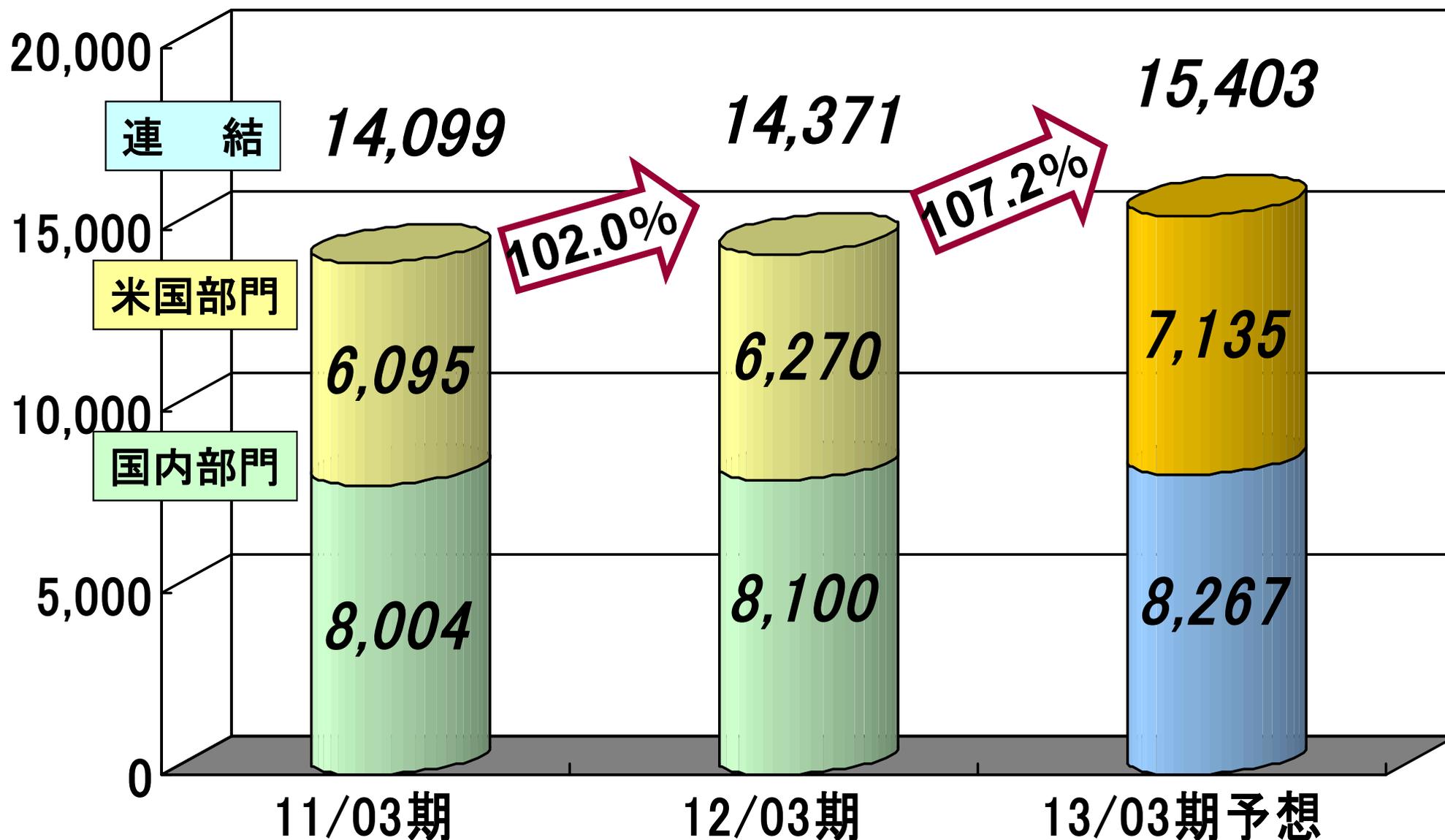
<http://www.daiohs.com>



(単位:千米ドル)



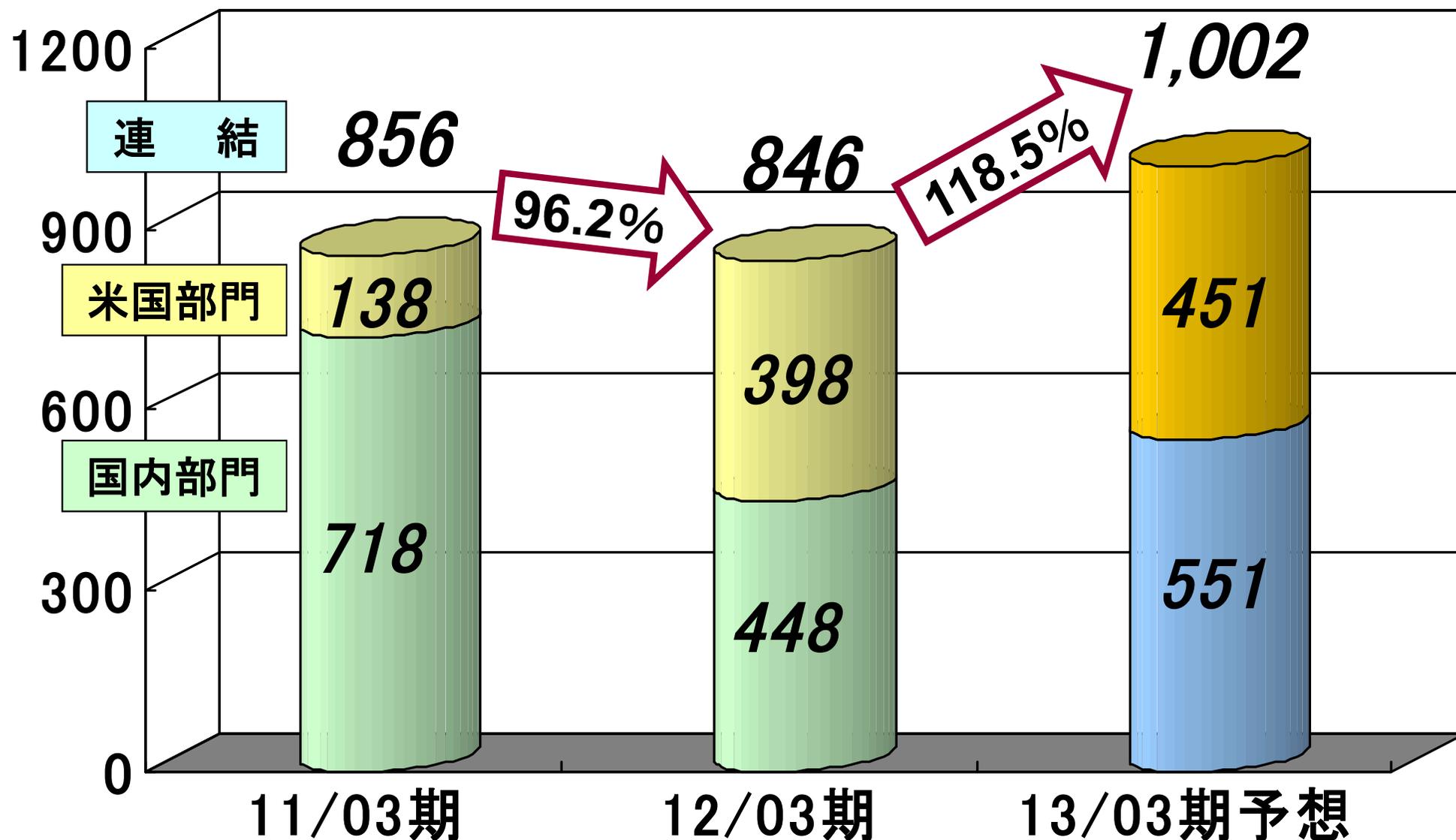
(単位:百万円)



Daiohs 2013年3月期連結予想営業利益

<http://www.daiohs.com>

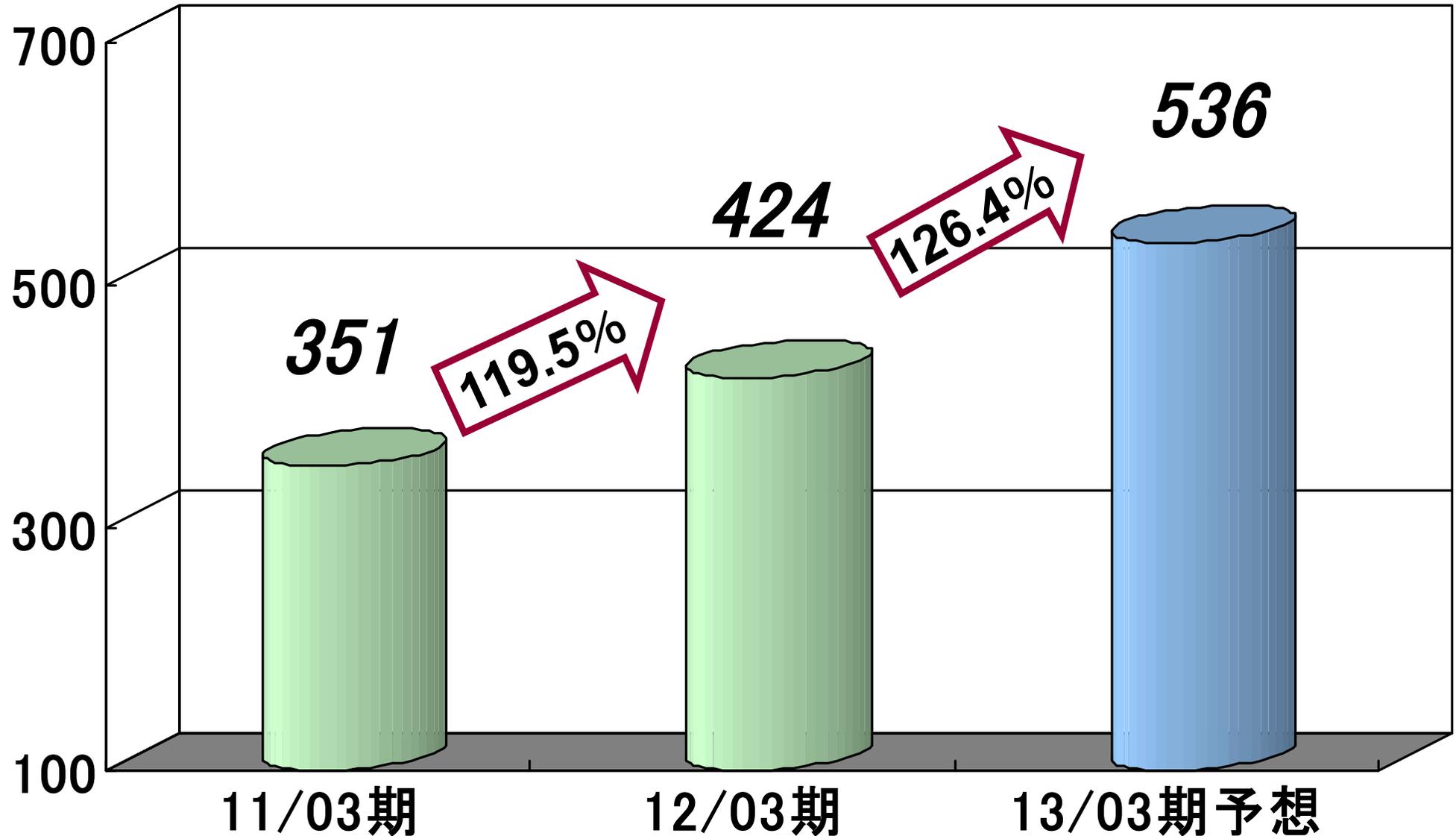
(単位:百万円)



Daiohs 2013年3月期連結予想当期純利益

<http://www.daiohs.com>

(単位: 百万円)



お客様満足度の向上

- 「年中無休の365日営業体制」を全国レベルに拡大する



増収への改善を推進

- 拡販体制の更なる強化、M&Aの積極推進
- 既存顧客との継続契約を守り抜く仕組みを完成させる



最大利益を確保できる組織の構築

- 事業単位ごとのオペレーションを確立し、最大利益を確保



米国西部各拠点の生産性向上

- 売上規模別モデル経営を継続実施
→生産性向上を目指す
- 先行投資を要する新規出店を行うためにも、既存拠点の利益増加継続が必要



新規出店による成長路線継続

- 米国中央部の市場を中心に、複数のM&Aを実施予定
- 既存拠点の周辺都市で、自力出店も行う
- OCS事業での全米展開を目指す



増収増益の継続を目指して

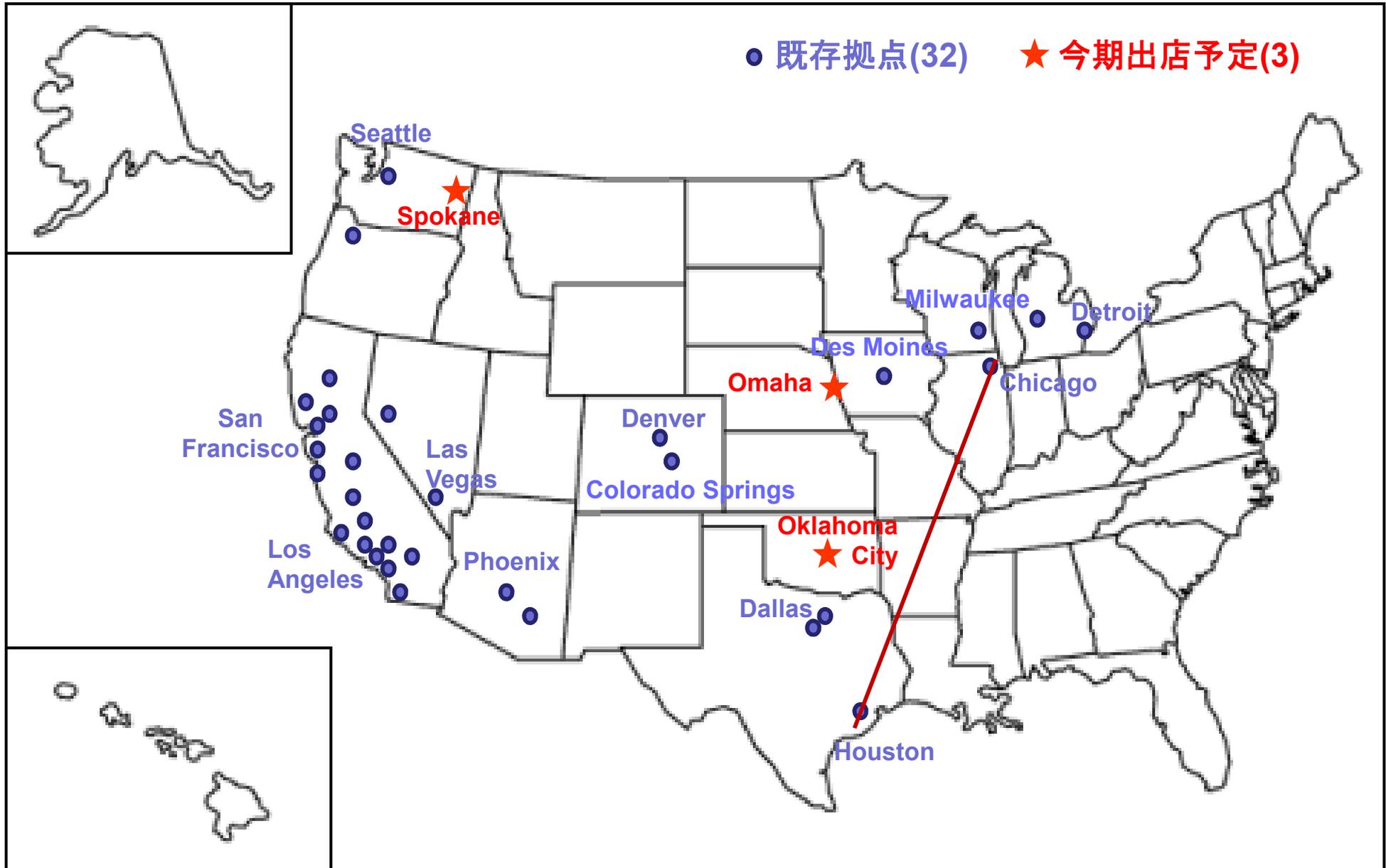
- 進出後5年以上経過した拠点では収益を継続的な向上を目指す
- 新規進出地域や目標売上未達拠点では、売上拡大に注力
- 結果としてバランスの取れた成長と利益の達成

- 戦略的M&Aの推進
- 既存顧客との取引を維持する手法の明確化
- 生産性向上と労務管理問題を解決する仕組みの構築、推進



- 拠点毎の利益管理を着実に行うこと
- 新規市場、既存市場それぞれで、M&A活動を継続
- M&Aを補完する自力出店型市場進出のノウハウ蓄積も必要





商号	株式会社ダイオーズ
証券コード	4653
創業	1969年6月
代表者	代表取締役社長 大久保 真一
本社	東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービル23階
資本金	10億51百万円(2012年3月31日現在)
事業内容	トータルオフィスサービス事業を営む連結子会社2社の純粋持株会社
売上高	143億71百万円(2012年3月期 連結)
経常利益	8億65百万円(2012年3月期 連結)
従業員数	901名(2012年3月期 連結 フルタイムー換算)
決算期	3月31日



Daiohs

株式会社 **ダイオーズ**